平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 セーレン株式会社　　上場取引所　東
コード番号 3569　URL http://www.seiren.com
代表者　(役職名) 代表取締役会長兼社長　(氏名) 川田 達男
問合せ先責任者　(役職名) 取締役執行役員 グローバル総務本部長　(氏名) 坪田 敏郎　TEL 0776-35-2111
四半期報告書提出予定日　平成26年2月14日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　有
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	71,857	4.7	4,140	29.4	4,601	32.9	2,647	30.6
25年3月期第3四半期	68,651	7.6	3,200	14.8	3,463	21.6	2,026	38.3

(注)包括利益　26年3月期第3四半期 5,093百万円 (132.8%)　25年3月期第3四半期 2,187百万円 (691.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	44.44	—
25年3月期第3四半期	34.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	99,958	54,962	54.5	912.75
25年3月期	94,321	50,762	53.2	844.21

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期 54,524百万円　25年3月期 50,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	7.50	12.50
26年3月期	—	7.50	—		
26年3月期(予想)				7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	8.5	6,000	55.8	6,500	45.8	3,700	36.4	62.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
②①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	64,633,646 株	25年3月期	64,633,646 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	4,897,223 株	25年3月期	5,171,132 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	59,572,079 株	25年3月期3Q	59,462,528 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

〇添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 2
（１）経営成績に関する説明 2
（２）財政状態に関する説明 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 4
３．四半期連結財務諸表 5
（１）四半期連結貸借対照表 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 7
四半期連結損益計算書 7
第３四半期連結累計期間 7
四半期連結包括利益計算書 8
第３四半期連結累計期間 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 10
（四半期連結キャッシュフロー計算書関係） 10
（継続企業の前提に関する注記） 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） 10
（セグメント情報等） 10

1．当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期における日本経済は、政府の経済・金融政策を背景に円安と株高が進行し、企業業績や個人消費に改善の動きが見られるなど、景気回復に明るい兆しが表れています。一方、世界経済では、低迷する欧州市場や中国経済の成長鈍化など、景気に対する先行きは未だ不透明な状況です。

当社グループでは、「21 世紀型企業への変革！」を中期方針に掲げ、変化し続ける経営環境においても、常にお客様のニーズに応え、かつ安定した収益確保と継続的な企業成長を果たすため、“新規事業の創出”と“グローバル事業の拡大”を柱とした中期事業戦略に取り組んでおります。併せて、生産性向上や業務の効率化・改善、徹底した経費削減による収益力強化を図るとともに、中期事業戦略の遂行に必要な人材育成および組織機能の拡充など、企業体質の強化に注力しております。

またグループ関連会社におきましては、グループ経営の強化および事業の効率化を図るため、連結子会社であるアルマジャパン㈱と㈱セーレンオーカスの合併や、セーレン㈱による㈱ナゴヤセーレンの完全子会社化を行いました。

当第3四半期の連結業績は、売上高718億57百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益41億40百万円（同29.4%増）、経常利益46億1百万円（同32.9%増）、四半期純利益26億47百万円（同30.6%増）となりました。

［セグメント別の業績概況］

（車輌資材事業）

国内事業では、新車販売台数の増加に加え、円安や整流活動の推進、究極のコスト削減などで、前年同期比で大幅な増収・増益となりました。中期戦略商品である高付加価値シート材“革を超える新素材”「クオーレ®」や、夏に熱くならず冬に冷たくならない「クオーレモジュレ®」※、また、車内のいやなにおいを瞬間消臭する「イノドールクイック®」など、画期的な燃費向上や快適性を追及した高機能商品がお客様の支持を広げております。

海外事業では、タイにおいて、日本向け輸出品での為替影響による減益がありましたが、タイを除く既存3拠点では、販売台数の回復などにより順調に売上高・利益を伸ばしました。インドおよびインドネシアにおける新拠点立上げ費用が先行しているものの、海外事業全体では、前年同期比増収・増益となりました。

なお、グローバル事業拡大に向けて進めているインド、インドネシアの生産立上げは、計画通りに推移し、両拠点とも、2013年秋に量産を開始いたしました。

当事業の売上高は376億59百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益31億95百万円（同49.6%増）となりました。

（※エアコンの稼動を11%抑え、燃費向上に効果〔当社試験データ〕）

（ハイファッション事業）

国内では、百貨店売上高が回復するなど、徐々に個人消費に回復の動きが見られました。当社グループが展開する「21世紀型事業」の中核であるビスコテックス事業については、多品種・小ロット・短納期を実現する独自技術のビスコテックス生産システムや、素材の機能性と差別化企画を兼ね備えたビスコマテリアル商品が、多様化する消費者ニーズを捉え、売上高を伸ばしました。一方で、従来の繊維加工事業ならびに国内のスポーツ衣料向けテキスタイル販売事業は売上高を落としました。

また、海外子会社の Saha Seiren Co., Ltd.（タイ）において、原糸から製品までの一貫生産による“価格競争力のある差別化商品”の生産を開始いたしましたが、当期においては生産体制立上げにかかる経費が先行しております。

当事業の売上高は204億15百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は1億79百万円（同71.0%減）となりました。

（エレクトロニクス事業）

国内外のエレクトロニクス市場は、新興国メーカーの台頭による価格競争の激化と消費低迷により、

厳しい状況が続いております。このような環境のなか当社グループでは、差別化を進めた電磁波シールド材「プラット®」およびプラット複合化商品等の新商品、ＫＢセーレン㈱の高性能導電糸「ベルトロン®」などが売上高を伸ばし、前年同期比増収・増益となりました。

ビスコテックス・システム販売については、多様化する消費者ニーズへの対応を省資源・省エネルギーで実現する生産システムとして、順調に拡販を進めております。

当事業では、繊維を始めとする高分子材料と金属との複合、インクジェット技術との技術融合など、当社グループの差別化シーズを活かした新商品開発を継続し、新たな価値創造に取り組んでいきます。

当事業の売上高は 37 億 60 百万円（前年同期比 10.8%増）、営業利益は 47 百万円と、前年同期比で 3 億 84 百万円の増益となりました。

（環境・生活資材事業）

消費増税前の住宅着工戸数の増加に加え、節電や環境意識の向上により、特に住宅に対する省エネニーズは急激な高まりをみせています。このような市況のなか、室内空間を快適にしつつ、かつ高い省エネ効果を実現する遮熱型透湿防水シート「ラミテクトサーモeco®」や遮熱型透湿ルーフィング材「ルーフラミテクト® RX」を始めとする住宅資材全般が好調に推移し、売上高・利益を伸ばしました。健康・介護商品やオフィス・インテリア資材においては、経費削減が進み、増益となりました。

当事業の売上高は 52 億 57 百万円（前年同期比 4.2%増）、営業利益は 5 億 63 百万円（同 4.6%増）となりました。

（メディカル事業）

当社の独自技術で商品化した、繭から生まれた天然成分セリシンを含む化粧品は、自社サイトの開設などネット販売強化に加え、百貨店での常設売場設置と継続的な催事展開による新規顧客の獲得を進め、堅調に推移しました。

また、卓越した消臭機能を持つアンダーウエアシリーズ「デオエスト®」は、メディア展開を始めとするプロモーションに注力した結果、幅広い客層から支持され、大幅に売上高を伸ばしました。さらに、セリシンの優れた機能と消臭機能を活かしたヘルスケア商品についても、昨年を大きく上回る売上高となりました。

メディカル資材では、ＫＢセーレン㈱の差別化原糸を用いた医療用基材が、引き続き堅調に売上高を伸ばしましたが、一部商品の在庫調整があり、前年同期比での減益要因となりました。

当事業の売上高は 39 億 94 百万円（前年同期比 3.4%増）、営業利益は 8 億 9 百万円（同 9.3%減）となりました。

（その他の事業）

医療システム販売事業および㈱ナゴヤセーレンの賃貸事業等、いずれの事業も堅調に推移しました。

当事業の売上高は 7 億 69 百万円（前年同期比 0.9%増）、営業利益は 3 億 19 百万円（同 34.6%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第 3 四半期末における総資産は、受取手形及び売掛金などの流動資産の増加や、設備投資による有形固定資産の増加により、全体で前期末と比較して 56 億 37 百万円増加の 999 億 58 百万円となりました。負債の部は、仕入債務や未払法人税等の増加により 14 億 37 百万円増加し、449 億 96 百万円となりました。純資産は、為替変動による為替換算調整勘定の増加や利益剰余金の増加などにより 41 億 99 百万円増加し、549 億 62 百万円となりました。

キャッシュ･フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益 45 億 95 百万円、減価償却費 31 億 61 百万円などの資金増加要因があり、全体では 69 億 16 百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ･フローは、有形固定資産の取得や定期預金の預入などにより 68 億円の支出となり、その結果、フリー･キャッシュ･フローは 1 億 16 百万円の増加となり

ました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払などにより 22 億 94 百万円の支出となりました。これらの結果、現金及び現金同等物は前期末より 18 億 20 百万円減少し、当第 3 四半期末残高は 60 億 16 百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、車輌資材事業や環境・生活資材事業において堅調な推移が見込まれることに加え、為替が想定よりも円安に推移していることなどにより、平成 25 年 10 月 31 日に発表した業績予想を以下の通り上方修正いたします。

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）（平成 25 年 10 月 31 日発表）	95,000	5,700	6,000	3,300	55 円 36 銭
修正予想（Ｂ）	98,000	6,000	6,500	3,700	62 円 7 銭
増減額（Ｂ－Ａ）	3,000	300	500	400	―
増減率（%）	3.2%	5.3%	8.3%	12.1%	―
（ご参考）前期実績（平成 25 年 3 月期）	90,364	3,850	4,459	2,711	45 円 61 銭

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第 3 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,264	8,941
受取手形及び売掛金	20,390	22,128
有価証券	91	－
商品及び製品	7,934	8,308
仕掛品	1,849	2,378
原材料及び貯蔵品	3,200	3,494
その他	2,441	2,095
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	44,161	47,336
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,157	21,173
機械装置及び運搬具（純額）	9,045	8,726
工具、器具及び備品（純額）	346	385
土地	9,626	9,696
その他（純額）	1,220	3,562
有形固定資産合計	41,395	43,544
無形固定資産	1,682	1,747
投資その他の資産		
その他	7,107	7,355
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	7,082	7,330
固定資産合計	50,159	52,622
資産合計	94,321	99,958
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,318	14,714
短期借入金	7,258	6,112
未払法人税等	381	1,044
賞与引当金	1,015	510
その他	3,888	4,064
流動負債合計	24,862	26,447
固定負債		
長期借入金	11,758	11,536
役員退職慰労引当金	174	161
退職給付引当金	5,515	5,526
その他	1,248	1,324
固定負債合計	18,696	18,549
負債合計	43,559	44,996

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,520	17,520
資本剰余金	16,838	16,799
利益剰余金	21,207	22,960
自己株式	△4,147	△3,928
株主資本合計	51,418	53,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	690	1,068
為替換算調整勘定	△1,909	103
その他の包括利益累計額合計	△1,219	1,172
少数株主持分	563	437
純資産合計	50,762	54,962
負債純資産合計	94,321	99,958

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	68,651	71,857
売上原価	53,000	54,878
売上総利益	15,650	16,978
販売費及び一般管理費	12,450	12,837
営業利益	3,200	4,140
営業外収益		
受取利息	70	228
受取配当金	62	69
為替差益	126	184
その他	167	128
営業外収益合計	426	610
営業外費用		
支払利息	130	107
その他	33	42
営業外費用合計	164	149
経常利益	3,463	4,601
特別利益		
固定資産売却益	8	10
特別利益合計	8	10
特別損失		
固定資産処分損	23	15
投資有価証券評価損	143	1
その他	0	－
特別損失合計	167	16
税金等調整前四半期純利益	3,304	4,595
法人税等	1,246	1,930
少数株主損益調整前四半期純利益	2,057	2,664
少数株主利益	30	17
四半期純利益	2,026	2,647

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,057	2,664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107	378
為替換算調整勘定	22	2,049
その他の包括利益合計	130	2,428
四半期包括利益	2,187	5,093
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,157	5,039
少数株主に係る四半期包括利益	30	53

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,304	4,595
減価償却費	3,177	3,161
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△8	△0
賞与引当金の増減額（△は減少）	△631	△505
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△16	10
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△0	△12
受取利息及び受取配当金	△132	△297
支払利息	130	107
為替差損益（△は益）	2	34
固定資産処分損益（△は益）	14	4
投資有価証券評価損益（△は益）	143	1
売上債権の増減額（△は増加）	896	△1,200
たな卸資産の増減額（△は増加）	△120	△640
仕入債務の増減額（△は減少）	△671	1,773
未払消費税等の増減額（△は減少）	△37	△81
その他	302	573
小計	6,352	7,524
利息及び配当金の受取額	126	291
利息の支払額	△137	△111
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△1,406	△787
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,934	6,916
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,121	△4,215
有形固定資産の売却による収入	29	45
投資有価証券の取得による支出	△2,672	△21
子会社株式の取得による支出	－	△6
定期預金の純増減額（△は増加）	△428	△2,407
その他	△117	△194
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,310	△6,800
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△308	△699
長期借入れによる収入	3,000	2,000
長期借入金の返済による支出	△2,712	△2,667
配当金の支払額	△594	△893
少数株主への配当金の支払額	△16	△20
その他	△15	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△647	△2,294
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	356
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△996	△1,820
現金及び現金同等物の期首残高	3,366	7,837
現金及び現金同等物の四半期末残高	※　2,370	※　6,016

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結キャッシュフロー計算書関係）

＊現金及び現金同等物の四半期連結累計期間末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
現金及び預金	2,930百万円	8,941百万円
預入期間が３か月を超える定期預金	△560百万円	△2,925百万円
現金及び現金同等物	2,370百万円	6,016百万円

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント（注）１						その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	車輌資材	ハイファッション	エレクトロニクス	環境・生活資材	メディカル	計				
売上高										
外部顧客への売上高	34,594	20,991	3,395	5,044	3,862	67,889	761	68,651	—	68,651
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1	344	—	—	345	326	672	△672	—
計	34,594	20,993	3,739	5,044	3,862	68,235	1,088	69,323	△672	68,651
セグメント利益又は損失（△）	2,136	617	△336	538	892	3,848	237	4,086	△886	3,200

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント（注）１						その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	車輌資材	ハイファッション	エレクトロニクス	環境・生活資材	メディカル	計				
売上高										
外部顧客への売上高	37,659	20,415	3,760	5,257	3,994	71,088	769	71,857	—	71,857
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1	338	—	—	339	394	733	△733	—
計	37,659	20,416	4,098	5,257	3,994	71,427	1,163	72,590	△733	71,857
セグメント利益	3,195	179	47	563	809	4,794	319	5,114	△974	4,140

（注）１.各報告セグメント区分の主な製品等は下記のとおりであります。

(1)車輌資材……自動車・鉄道車輌等内装材（シート材、エアバッグ、加飾部品）

(2)ハイファッション……各種衣料製品、衣料用繊維加工

(3)エレクトロニクス……ビスコテックス・システム及びサプライ、工業用ワイピングクロス、電子機器

(4)環境・生活資材……建築用資材、インテリア用資材、健康・介護商品、エコ関連資材

(5)メディカル……化粧品、浄水器及びフィルター、医療用製品

なお、「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウエアの開発及び販売、保険代理業を含んでおります。

２.セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用（前第３四半期連結累計期間1,012百万円、当第３四半期連結累計期間1,089百万円）が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門などの管理部門に係る費用であります。

３.セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。